



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂 (挑戦・忍耐・協力)

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

第 328 号

令和6年7月23日発行

学 校
ホーム
ページ
→

持続可能な社会の創り手を育む

校長 須藤 泰司

夏は暑い、当たり前のことですが、じめじめとした今の時期は最も過ごしづらさを感じます。しかし、畑ではキュウリがこれでもか！とその成長ぶりを誇示し、トマトやナスがつやつやと輝いていると、やはり夏のすばらしさを感じずにはおれません。暑さを避けつつも、恵みをもたらす夏に感謝。室内で食べる八色スイカの飛び切りの甘さに、生きていることの幸せを感じています。

さて、夏の暑さを乗り切るため「土用の丑の日」(今年は、7/24と8/5と2回あるそうです)には鰻(ウナギ)を食べる習慣があります。しかし、ずっと昔からあったわけではないそうです。江戸時代に、夏になると売り上げが落ちることに困った鰻屋(鰻の旬は秋から冬)が、エレキテルで有名な発明家・平賀源内に相談したところ、「精の付く鰻は夏を乗り切るのに最適」という宣伝文句を掲げてみればと、アイデアをもらったそうです。土用の丑の日にそののぼりを掲げたところ、大ヒットしたということらしいです。私も鰻が大好きですが、一時我慢して食べないようにした時期があります。牛丼チェーン店がこぞって安価なうなぎやうなぎを提供しだした頃です。鰻というものは、川や沼地の淡水にいますが、産卵に海へと降りていきます。その稚魚を捕まえて大きくして育て出荷する、いわゆる養殖によってウナギが市場に出回っているのです。近年、その稚魚が乱獲により減少し、まさに価格はウナギのぼりに上昇してしまいました。卵からふ化させて養殖することができればいいのですが、その技術はいまだ確立されていなかったもので、稚魚がいなくなると、鰻は絶滅してしまう。なのに、チェーン店でまで鰻を出すようになったら、更に鰻の絶滅が早くなってしまうではないか。鰻が好きだからこそ、自分は食べず、資源維持に少しでも貢献できれば、という思いからです(大した貢献にはならなかったと思いますが)。

昨年、朗報がありました。近畿大学が大学として鰻の完全養殖に成功、さらに今年は、2010年にウナギの完全養殖に成功した国立研究開発法人・水産研究・教育機構が、ついに天然鰻との食べ比べ試食会を開いたと、話題となりました。味は天然物と遜色ないとのこと。まだまだ価格面で高くつくという話でしたが、鰻を食べる文化の継承が持続可能となる道に光が差ししました。同じような話で、乱獲による資源減少が危ぶまれ、絶滅危惧種にも指定されたクロマグロが、漁獲規制を続けてきたおかげで、その数が戻ってきているという報道がありました。マグロ好きの日本人は、当然資源回復に向けて漁獲制限を守り、世界的にその姿勢を示してきました。そして、同じように近畿大学がマグロの完全養殖に成功し、価格を下げる研究を続けているということです。この二つのことから感じるのは、人間の野放図な欲望で、絶滅してしまう生き物がいるということ、しかしその事実に向き合い必死な努力・研究をしてくれている人たちがいるということです。

私ができたことは、食べることを我慢するという、レベルの低いことですが、同じ心配から「マグロや鰻を守ろう」と、日夜研究し実験し、命を絶やさないために努力をしている人たちがいることの素晴らしいさを感じます。「しょうがないよ」とあきらめるのではなく、「どうしたらいいのか」と研究者や大学生たちが、真剣に向き合い考えているということに、頭が下がります。今の若者たちは、「持続可能な社会の創り手」と言われています。しかし、それは若者たちに未来を任せるということではなく、大人たちも一生懸命若者たちと一緒に考えることだと思います。学校で言えば、生徒たちに「今の地球規模の課題を自分たちの身近な問題に落とし込んで自分事のように感じさせ、一緒になって考えようという姿勢を見せること」が、教師の役割だと、私は考えます。地球温暖化というような途方もない大きな問題も、身近な物事に落とし込み、「自分なら何ができるか」と考えさせていく。

「しょうがないよ」とあきらめるのではなく、「自分はこれをやってみる」と考え行動する生徒を育てたい。無駄な電気を消して回ることからだっていい。前向きに考え行動する、持続可能な社会の創り手を地域社会の皆さんと共に育てていこうと思います。

先日、校舎を背にして右方向、新赤坂町側へ行く坂道の途中に、散乱したごみ(そこで宴会でもやったかのよう…)があったそうです。下校中にそれを見つけた生徒が、学校に戻り「先生、トングを貸してください」といって、ごみを片付けてくれました。その心根の美しさ前向きな行動のすばらしさに感動した私は、全校生徒にそれを伝えました。三中生のその立派な行動に、持続可能な明るい未来を見た気がしています。



<三中生の活躍！> 全国大会1名 北信越大会3名出場決定！

通信陸上競技大会(7月7日、8日 ビッグスワンスタジアム)

<男子>

1年100M 予選敗退 近藤 1年1500M 3位 小熊(北信越大会出場)

共通800M 4位 柳(北信越大会出場) 共通1500M 15位 柳

共通4×100Mリレー 予選敗退 片山・品川・石田・近藤

<女子>

3年100M 5位 須貝 共通200M 2位 須貝(北信越大会出場)

共通800M 22位 佐々木 共通110MH 予選敗退 田邊

共通4×100Mリレー 16位 田邊・三上・高橋・佐藤

新潟県総合体育大会(7月13日、14日)

【女子テニス(新潟市営庭球場)】

団体：1回戦 三中×○新津一中

個人：1回戦敗退 曾根・山田ペア 2回戦敗退 吉原・宮下ペア

【水泳(ダイエープロビスフェニックスプール)】

<男子> 予選敗退

50M自由形 近藤 100M自由形 關矢・眞貝

200M自由形 佐野 100Mバタフライ 近藤

100M平泳ぎ 佐野・長澤 200M平泳ぎ 長澤

<女子> 予選敗退

50M自由形 佐藤 100M自由形 中野

200M自由形 中野 100M背泳ぎ 佐藤

新潟県総合体育大会(7月20日、21日)

【陸上(五十公野運動公園)】

<男子>

800M 7位 柳 1500M 予選敗退 柳

4×100MR 予選敗退 片山・品川・石田・近藤

<女子>

100M 4位 須貝 200M 2位 須貝 25秒66(全国大会出場)

800M 予選敗退 佐々木 100MH 準決勝敗退 田邊

走り幅跳び 予選敗退 中根 四種競技 16位 高橋 25位 佐藤

4×100MR 予選敗退 田邊・三上・高橋・須貝

☆北信越大会は8月6日に新潟市、全国大会は8月17日～22日に福井市で開催されます。

<いざ体育祭！ スローガン「一致団結！！ 燃えろ三中！！ ～今しかできない青春を～」>

9月14日の体育祭に向け、活動が本格化しています。今年は紅軍(3-1, 2-2, 1年B)と青軍(3-2, 2-1, 1年A)の2軍に分かれて競技・応援・パネル部門で競います。実行委員長の決意を掲載します。

スローガンには「お互いで励まし合い、全員が最高の思い出を作ってほしい。一人一人が自分の出せる力を出し切る。」という思いが込められています。軍抽選が終わり、各軍の活動がリーダーを中心に本格的にスタートしています。今年度も昨年度に続き「2軍制」で「半日」の実施です。短いからこそ、一つ一つの競技を全力で盛り上げ、それぞれが協力、挑戦して両軍から笑顔や声援が溢れ出す体育祭にしていきます。

白熱した最高の時間を作れるように全校生徒全員で一生懸命頑張ります。

応援よろしくお願いします！(実行委員長 丸田)



<これからの予定>

7月				13日(火)	学校閉庁日(～16日)
24日(水)	夏季休業(～8/25)			17日(土)	全国大会(陸上 福井市～22日)
	ぎおん柏崎まつり(～7/26)			20日(火)	体育祭リーダー活動(1～3年生)
	3年生三者面談1, 2年生個別面談(～7/29)			21日(水)	体育祭リーダー活動(1～3年生)
	2, 3年生学習会(～7/25)				体育祭実行委員会
29日(月)	体育祭リーダー活動(3年生のみ)			24日(土)	長岡英智高校・帝京長岡高校体験入学
30日(火)	体育祭リーダー活動(応援:3年パネル:1～3年)			26日(月)	休業後集会 マインドチェック
	柏崎総合高校・中越高校体験入学				
31日(水)	体育祭リーダー活動(応援:3年パネル:1～3年)			27日(火)	生徒朝会 学校運営協議会
8月				29日(木)	部活動休止(～9/5)
2日(金)	体育祭リーダー活動(応援:3年パネル:1～3年)				新人水泳、柏刈駅伝激励会
5日(月)	体育祭リーダー活動(1～3年)				柏崎高校体験入学
6日(火)	生徒玄関、廊下ワックスかけ			30日(金)	質問教室 合同新人水泳大会
	北信越大会(陸上 ビッグスワン)			9月	
7日(水)	2, 3階トイレクリーニング			2日(月)	質問教室
	柏崎刈羽「私の主張大会」 			4日(水)	定期テストⅡ
				5日(木)	定期テストⅡ

